

しやくじい

練馬区立
石神井小学校
学校だより
令和元年度 6月号

開校145年を迎えて

副校長 佐々木祐介

梅雨入りも間近に、紫陽花が色とりどりに咲く季節となりました。

開校記念日が5月18日にありました。明治7年開校から145年目です。PTAからは、児童一人一人に記念タオルが配付されました。また、旧校舎に掲示してあった卒業制作が、地域の方々により体育館に移設されました。

卒業制作は、どれも大きなサイズで力作です。描かれている内容を見ると、ある版画には「武藏野鉄道」という文字入りのドイツ製の汽車が、のどかな田園風景の中をもくもくと白い煙を上げて走る様子が描かれています。武藏野鉄道は西武鉄道の前身で明治45年から昭和21年までその名称であったということです。まさに本校145年の歴史の一部であり、村の発展とともに石神井小があったという証です。

また別の版画には、防空頭巾をかぶって防空壕へ避難する教員と子供たちが描かれています。空襲警報のサイレンが鳴ると授業を中断し、命を守るという大変な時代があったということを私たちに訴えているようです。平和を切に願う卒業生のメッセージとして見る者の心を感動させます。

すべての作品を紹介することはできませんが、どの作品からもその時代時代を映し出す卒業生の純粋な主張が伝わってきます。

令和元年となりました。本校の校歌は、「歴史は新た わが石神井」で締めくくられます。子供たちに開校145年の伝統と誇りを自覚させ、未来社会に協力して明るく楽しく生きる力を身に付けていきたいと思います。



◆ 6月の行事予定 ◆

- 3日（月）ふれあい月間始
岩井移動教室始（6年）
移動教室説明会（5年）
6日（木）岩井移動教室終
8日（土）学校公開日、体育健康朝会
10日（月）全校朝会、クラブ活動
交通安全教室（1年）
11日（火）こころの劇場（6年）
12日（水）安全指導日、体力テスト（低学年）
13日（木）体力テスト（高学年）
14日（金）体力テスト（予備日）、避難訓練

- 17日（月）全校朝会、クラブ活動
水泳指導開始
18日（火）たてわり班遊び
19日（水）特別時程、4時間授業（研究会のため）
20日（木）きこえとことば紹介集会
21日（金）4時間授業（校区別協議会のため）
24日（月）全校朝会、クラブ活動
25日（火）集会（集会委員会）
26日（水）特別時程、夏祭り（難言）
27日（木）特別時程、社会科見学（3年）
28日（金）定期健康診断終了・ふれあい月間終
委員会活動（7月分）



3年 遠足(4月25日)

心配していた前日の雨も上がり、日和田山と巾着田に行くことができました。日和田山では、チームで励まし合って、チェックポイントを通過しながら頂上を目指しました。山頂からの景色を楽しむ子供たちの顔は、達成感で輝いていました。巾着田では、水車を見たり、生き物を見付けたりして過ごしました。山登りの後のお弁当は特別に美味しかったことでしょう。思い出に残る遠足になりました。



情報モラル講習会

5月8日（水）学校公開日に情報モラル講習会を行いました。2校時は5年生児童対象に、「ネット投稿の仕組み」や「スマホが返信できない状況への理解やその対応の仕方」などについて、お話を聞きました。情報機器の便利さと、利用するときに気を付けていかなくてはならないことを考える、とてもよい機会となりました。3校時は保護者の方々向けに、「トラブルや依存の実態」や「家庭でできること」などについて、具体的な対応策の話がありました。『もたせはじめが大切』という言葉が印象に残りました。現代の情報化社会を便利に安全に過ごすためには、相手を思いやる気持ちやそのリスクを知ることの大切さを改めて感じました。

新体力テスト

今年度も体力テストを行います。6月12日（水）に低学年、13日（木）に高学年が測定します。その日に測定しない項目は、体育の授業の中で行います。

自分の今の体力を知り、今後の健康づくりに生かせるよう、指導してまいります。低学年については、意識調査の部分で保護者の皆様に記入をお願いがあります。

テスト項目は、以下の8つです。

- ・握力
- ・上体起こし
- ・長座体前屈
- ・反復横とび
- ・50M走
- ・20Mシャトルラン
- ・立ち幅とび
- ・ソフトボール投げ

詳細については、別途お便りにてお知らせいたします。ご協力をよろしくお願ひいたします。

きこえことばの教室 夏祭り

6月26日（水）2時～4時 体育館

お店のルールや看板、アピールの言葉などを話し合ったり作ったりしながら、子供たちが準備を進めています。皆で力を合わせ、楽しい夏祭りにしたいと思います。（※夏祭りへの参加は、通級児とその保護者・兄弟児となります。）

4年 遠足(4月23日)

天候にも恵まれ、天覧山、飯能河原へ行くことができました。初めての学年の中で班活動を行いました。どの班も友達と助け合って、励まし合って、天覧山へ登り、山頂からの景色を楽しみました。飯能河原はとてもよい景色でした。川の音も楽しみながら歩きました。班ごとに分かれてお弁当を食べ、待ちに待った川遊びでは、川の水の冷たさも忘れて、水に入り、水辺の生き物を見付けたり、水を掛け合ったりして楽しく遊びました。



水泳指導

6月17日（月）より、水泳指導を開始します。

低学年は少しずつ水に慣れて楽しく遊び、中学年は浮いたり泳いだりして基礎的な泳力を身につけ、高学年では、長く安定したフォームで泳げるよう指導します。一人一人が課題をもち、達成していく喜びを味わってほしいです。

体調がすぐれない中で無理に参加したり、きまりが守れなかったりすると、思わぬ事故につながりかねません。子供の安全のためにも、水泳カードへの検温記入と捺印、そのほかに持ち物のチェックなどを忘れずにお願いいたします。（記入漏れ等のある場合、個々の保護者への確認連絡が難しいため、見学となります。）

また、健康診断で治療すべきところが見つかった場合は、水泳指導の開始までに完治していないと、参加できないことがあります。早めの治療をお勧めいたします。

研究報告（2年）

本校では、今年度も特別の教科「道徳」の研究を行っています。「心豊かな児童の育成」という研究主題を受け、低学年では、目指す児童像を「相手の気持ちに気付き、優しく接する児童」と考えています。親切・思いやりをテーマとした『ぐみの木と小鳥』という教材で研究授業を行いました。病氣で寝ているりすのために、小鳥はぐみの実を届けます。しかし、ある日嵐になり、小鳥はじっと考えますが、ぐみの実をくわえ、りすの家へ飛び立っていきます。嵐の音を聞かせたり、拡大したぐみの木を見せたりして、より臨場感を出すようにしました。

子供たちは、「嵐でずっと考えていたんです。行こうかな。行かない方がいいかな。」「ぼくは、嵐の中をがんばって行って、りすさんにぐみの実が渡せてよかったな。」等、小鳥の気持ちになって、よく考えることができました。

最後に、自分自身の経験から、親切にできたときの気持ちを振り返り、親切にすることのよさに気付くことができました。

特別支援教室「さわやかルーム」

『感情のコントロールが苦手』、『落ち着いて学習に取り組むことが難しい』、『読み書きが苦手』など、いろいろな困り感があると思います。さわやかルームは、それぞれのやりにくさを軽減できるように、得意なことが伸ばせるように学習していくところです。お子様のことで心配なことがありましたら、一緒に考えていきたいと思いますのでご相談ください。